

議会だより

みなみふらの



第2回定例会概要	2～3 P
一般質問	3～4 P
町長の行政報告	5～7 P
教育長の教育行政報告	8 P
表彰・研修会	9 P
臨時会・議会の動き	10 P

6月定例議会



平成30年第2回定例会は、6月20日招集、会期を6月22日までの3日間と決めた後、各委員会の委員長報告があり、2議員による一般質問（質問の内容と答弁の要旨は3〜4ページに掲載）が行われた後、繰越明許費繰越計算書及び事業繰越し繰越計算書、株式会社南富良野町振興公社の経営状況について報告を受けました。引き続き、平成30年度一般会計補正予算及び2特別会計補正予算、条例の一部改正3件、南富良野町過疎地域自立促進市町村計画の一部変更、辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について、審議の結果、原案のとおり可決し、1日目を終了しました。

第3日目の6月22日は、財産の取得2件を原案のとおり可決した後、南富良野町監査委員の選任について、原案のとおり同意することに決定しました。引き続き、南富良野町固定資産評価審査委員会委員の選任について、無記名投票で採決の結果これに同意することに決定し、全ての日程を終え定例町議会を終了しました。

条例の一部改正

○南富良野町税条例

地方税法の一部を改正する法律が施行されたことによる改正です。

○南富良野町国民健康保険税条例

地方税法施行令の一部改正に伴う基礎課税額の限度額並びに国の制度改正に伴い後期高齢者支援金分・介護納付金分の税率の一部を引き上げる改正です。

○南富良野町職員の自己啓発等休業に関する条例

学校教育法の改正に伴い条項番号の改正を行うものです。

人事案件

○固定資産評価審査委員会委員の選任

平成30年6月26日をもって任期満了になる高橋一久氏（幾寅59歳）を引き続き選任したいと同意を求める議案が提出され、無記名投票の結果、全議員の賛成により同意しました。

その他

○財産の取得

取得しようとする動産
小型ロータリー除雪車
（1.3m、700t/h級）
1台

・取得金額

1976万4千円

・取得先
ナラサキ産業株式会社北海道支社

○財産の取得

・取得しようとする動産
高等学校情報通信備品（パソコン等）1式

・取得金額

1911万6千円

・取得先

北海道市町村備荒資金組合
○南富良野町過疎地域自立促進市町村計画の一部変更

交通通信体系の整備、情報化及び地域間の交流の促進として自動車事業を追加するものです。

○辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

下金山新生橋橋梁補修事業を追加し、事業費を変更するものです。

監査委員（議選） 川村勝彦氏に同意



議会選出監査委員として、川村勝彦氏（幾寅62歳）の選任について、同意を求める議案が町長より提出され、原案のとおり同意することに決定しました。

一般会計補正予算の主なもの

- 住宅等建設促進事業助成金 480万円
- 合併処理浄化槽設置整備事業促進補助金 12万円
- 水源林整備委託料 244万1千円
- 民有林整備事業補助金 281万7千円
- 商工業等起業支援事業補助金 200万円
- 町道落合線法面復旧工事 686万円

平成30年度各会計補正予算	補正額	補正後
一般会計	1905万円	39億4737万円
国民健康保険事業特別会計	56万円	3億3192万円
後期高齢者医療事業特別会計	1万円	4283万円
介護保険特別会計	—	2億6308万円
簡易水道事業特別会計	—	2億3442万円
公共下水道事業特別会計	—	1億2793万円
合計	1962万円	49億4755万円

問 高齢者福祉対策の検討内容は

答 現在の福祉サービスについて効果・適正について検証する



一般質問（要旨） 酒井 年夫 議員

① 高齢者福祉

酒井 本年の町政執行方針で、高齢者福祉対策について、平成31年度に向けて、事業内容や利用者負担の見直しを検討すると述べているが、現在どのような方向となるべく検討しているのか。

町長 高齢者が住みなれた地域で安心して暮らしているサービスの実現として、住まい、医療、介護、生活支援、そして介護予防、これらを包括的に提供していく地域包括ケアシステムの構築が求められているところであり、これらを推進していくためには、現在の福祉サービス全体について効果並びに利用者負担の適正を検証し、包括ケアシステムの構築に努めていかなければならないと考えている。

総合的に今まで進めてきたものがどうなっているか、また、南富良野の今後のあるべき高齢者福祉の問題について論議をし、方向づけをしていきたい。

② 観光振興

酒井 本町の観光は、かなやま湖を基軸とするとの基本的な考え方をもち、従来よりラフティング・カーヌー・サイクリングを考えているようであるが、特に施設等の設置や再整備に対する考えを伺う。

町長 現在の道の駅の機能を付加、拡充させ、ここを核としたまちのにぎわいを創設するよう、整備を計画しているところである。

道の駅の再編整備により、かなやま湖を基軸に培われてきたアウトドア体験観光が、さらにレベルアップすることで、さらなる誘客力の向上とキャンプ場周辺における利用者増加の相乗効果が期待できるものと考えている。まずは、現在進めている道の駅周辺整備計画の策定に、全精力を傾けていきたいと考えている。

③ 農業担い手対策

酒井 本町の農業の担い手対策は奨学金制度や新規就

農者育成制度と従来からいわれているが、本町の農業形態から、これらの政策のみで対応が可能と考えているのか。

〔町長〕 農業後継者育成奨学金制度は8名が活用しており、この8名から現在在学中である2名を除いた6名のうち、後継者として農業に従事されている方は5名であり、その定着率については83%と、ある意味では高い定着率を示している。

また、新規就農者等育成制度も、現在までに5名がこの制度を活用し、このうち4名が後継者、新規就農者として農業に従事しており、その定着率については80%であり、こういう実績から、就農に向けた誘導策としては、この2つの制度、一定の成果をあげているというふうと考えている。
短期的な視点に立った施策はもちろんだが、中長期的な展望に立った対策が、より重要になると考え、現在ある制度の効果等について検証をしながら、今後の対応につなげていきたい。

一般質問（要旨） 阿部 修一 議員



問 商工会・観光協会に対する支援策は

答 事務局体制を強化し各団体組織の活性化を図る

①道の駅・防災ステーション構想

〔阿部〕 3月の定例会で質問させていただき、その後委員会の中でも話を聞かせていただいたが、「道の駅」及び「防災ステーション」の全体計画・構想については、進捗していないのが現実である。私も議員だけでなく、町民の方々も大変心配している方もいることから、構想の計画内容、該当エリアの土地利用計画を含め、逐次、早急に住民周知を図るべきだと思うが、どのように考えているのか。

〔町長〕 道の駅再編構想にあたっては、民間企業における宿泊施設や商業施設建設の提案も受けているところである。防災ステーションを含めた道の駅を中心とする全体計画については、これら民間企業の参入の有無が大きく左右されることとなり、現段階では、不確定な要素もあり、方向性が明確になった時点で、具体的な内容がまとまった時期に、町民への周知をさせていた

だきたいと考えている。全体計画構想がなかなか進展していないといった指摘については、さまざま企業からの提案を受けているなかで、少し時間がかかっているが、しっかりと方向性を出していきたい。

②商工会・まちづくり観光協会に対する支援等

〔阿部〕 3月の定例会で質問させていただきましたが、新年度になり、各団体とも総会も終了したことと思いますが、どのような支援内容の充実、体制の強化が図られたのか、図ろうとしているのか、今後の方向性を含め具体的な考えを伺う。

〔町長〕 町商工会の事務局体制については、本年の3月末をもって退職する事務局長の後任の要請があり、本町の商工振興の課題に対処するべく、町として商工会のさらなる連携強化を図るための人物の逸材として新事務局長については、早期退職をした町職員を推挙し、現在は商工会の事務局長として、活躍をしていただ

ている。また、商工会と観光協会の関係については、まちづくり観光協会の事務局体制の強化ということで、観光協会の行う事業や、設立目的と密接な関係にある株式会社南富良野町振興公社の常務取締役が、現在観光協会の副理事長に就任し事務局運営にかかわっており、観光協会、商工会、振興公社が連携協力をする中で、三つの団体組織の活性化が図られ、本町のまちづくりの推進につながっていくと考える。町としても、商工会の新事務局長を核として、観光協会、振興公社、商工会が連携をして、新たな商工振興並びに、観光振興が図られるような体制をつくっていく。



町長の行政報告



■根室本線の災害復旧と路線維持を求める取り組み

平成28年8月の災害発生以来、不通となっておりますJR根室本線東鹿越駅から新得駅間の災害復旧と路線維持を求める取り組みにつきましては、鉄路をめぐる様々な状況の変化があるところでありますが、本町としては、住民皆さまの総意により災害復旧の早期着手と路線の維持を求めて関係機関への要請行動に取り組んできたところであります。

特に、総合交通体系等調査特別委員会を中心にして町議会の皆さまには、新得町議会及び占冠村議会と連携体制を構築していただき、本年2月には、3町村議会合同で北海道知事及び北海道議会議長、北海道地方路

線問題調査特別委員会委員長に対し、災害復旧の早期着手と路線維持の要請活動が行われたところであります。

また、4月16日には、町内の自治会と南富良野町商工会、南富良野町森林組合、ふらの農業協同組合の主催により、会場を埋め尽くす30名を超える住民の参加をいただき「根室本線の災害復旧と路線維持を求める住民集会」が開催され、取り組みの経過報告や参加者との意見交換が行われ「根室本線の災害復旧と路線維持を求める住民集会決議」が採択されました。

さらに4月25日には、JR北海道に対し3町村議会による早期災害復旧を求める要請が行われ、このような議会の取り組みと連動いたしまして、行政では新得町長とともに北海道選出国會議員に対する中央要請活動を行い、また、上川町村会及び十勝町村会に路線維持の協調協力を働きかけ、4月26日には両町村会の臨時総会において決議された路

線維持等の要望事項を合わせて、両町村会長と新得町長、占冠村長とともに「根室線（富良野〜新得間）の早期災害復旧と維持に関する要望」を北海道知事、北海道議會議長、JR北海道に対し要請活動を行ったところであります。

6月6日には、4市2町1村の根室本線対策協議会として、国土交通省と道内選出国會議員に対し「早期災害復旧及び路線維持等に向けた国の支援」について、中央要請活動を行ってまいりました。

これまで3町村の議会と行政が取り組んできた行動が大きな発信となりまして、今般示された「北海道交通政策総合指針」では、富良野〜新得間の今後の方向性に「道北と道東を結ぶ災害時の代替ルート、あるいは観光列車などの新たな観光ルートの可能性の観点も考慮する必要があること」が追加されるなど、根室本線が幹線として重要な役割を持つという認識が広まってきていることは、大きな取り組みの

成果と思っているところでもあります。

このように、富良野新得間の災害復旧の早期実施と路線維持の機運が高まってきているところでありますが、報道によりますと、JR北海道の路線見直し問題が協議する第2回6者会議が6月17日に開催され、期待をしておりました国からJR北海道への路線維持への支援策が示されない中で、JR北海道からは「経営再生の見直し案」が示され、その中で富良野新得間を含む5区間については、当初の方針どおりバス転換を求めるため、今夏にもまとまる国の財政支援の対象外とすることが示されたところであり、町民皆さまをはじめ路線維持を願う皆さまの意思に反する方針であり、強い憤りを禁じえないところでもあります。

行政としましては、平成28年8月の災害以来、復旧の目途さえ立っていない路線状況のなかで、予断を許さない状況が続きますけれども、この間、精力的に路線

維持の活動にご尽力いただいた議員の皆さまをはじめ、住民集会を主催いただいた各団体の皆さまには心から感謝とお礼を申し上げますとともに、引き続き早期災害復旧と路線維持に向け、粘り強く市町村、関係団体とともに最大限の取り組みを行ってまいります。

根室本線の災害復旧と路線維持を求める住民集会



■本町地区の国及び北海道の建設事業概要

道道金山幾寅停車場線伊勢橋から町道落合線大勝橋までの国直轄管理の空知川2.4km区間については、災害復旧工事が全て完了しておりますが、3月には空知川河川整備計画の変更が決定され、計画洪水流量を毎秒1000tから1400tに引き上げる計画変更に基づきまして、新規の事業として今年度は、河床を下げる掘削工事と右岸側の無堤防区間の用地測量を行う予定である旨、札幌開発建設部から説明を受けております。

また、同じく空知川で北海道管理区間の幾寅山畔地区福寿橋付近から上流3.9km地点の飛渡氏所有農地までの区間の災害復旧箇所のうち、3kmは既に復旧工事が完了しておりますが、残り900mについて本年度工事が開始され、明年の2月までに完了する予定であります。

次に道路関係であります
が、道道金山幾寅停車場線

では、曲線緩和のための橋梁整備2箇所が実施されており、本年度は橋の上部工事と橋桁架設工事がそれぞれ行われ、平成31年度の供用開始を目指して工事が進められる予定であります。

道道石勝高原幾寅線については、昨年度から引き続き本年度も復旧工事が行われており、本年の7月17日に開通する見通しで工事が進められております。

次に、治山事業については、町道幾寅東13号線付近の越中の沢川上流部で、平成28年8月の集中豪雨により山腹崩壊が発生しており、崩壊を防ぎ、国道・町道を保全すべく6基のコンクリート谷止工を設置する予定であり、今年度については、上流側にコンクリート谷止工1基の設置が行われる予定であります。

国や北海道のそれぞれの関係機関から説明を受けておりますのでご報告申し上げます。

■北海道立林業大学校(仮称)地域実習拠点誘致事業

現在、北海道では、平成32年度道立林業大学校の開校に向けた取り組みを進めております。本学では、就業前に専門的な知識と技術を習得させ、即戦力として企業経営などの中核を担える人材を育成することを目的としております。

本町におきましては、人工林が利用期を迎え、伐採、植林などの林業生産活動が活性化していますが、林業労働者が依然として高齢者の割合が高く、また、就業後の離職率も高い水準にある

など、森林づくりを担う人材の育成・確保が喫緊の課題となっております。

この課題解消に向けて、実習生と本町林業関係者との交流を図り、林業関係者が地域の森林を再認識すること、今後の森林施策に活かすことや、実習生が将来的に本町で就業する機会を提供することが出来るなど、本町における森林・林業の振興や森林づくりを担う人材の育成・確保に資することが期待されるところであります。

本学の開校に当たり、地域の特徴的な森林や、その地域の林業生産活動の視察研修及び森林施策の実践などを行う地域実習拠点が設置されますので、本町の特徴である豊富な森林資源を有している状況と、様々な森林管理主体による多種多様な森林施策方法を実践していること、さらに木質バイオマス利用など先進的な取り組みについて、1つの地域で学べるフィールドを有していることなどから、地域実習拠点の誘致に向け

た提案書を5月29日に北海道へ提出いたしました。今後のスケジュールについては、7月上旬には、北海道として本校の設置箇所や地域実習拠点箇所の方向性が示されることになっております。

■かなやま湖湖水まつり及びイランカラプテ音楽祭開催

本年度、第47回目を迎える「かなやま湖湖水まつり」については、去る5月15日に祭典実行委員会が開催され、本年は、北海道命名150年記念事業のイランカラプテ音楽祭を併せて開催することになりました。

このイランカラプテ音楽祭は、昨年、釧路市阿寒において初開催されたイベントで、アイヌ文化を通したふれあいの場、交流の場とすることを目的として開催されていくところであります。が、本町としましては芥川賞作家の新井満氏や阿寒湖畔在住の秋辺テボ氏との親交や、北海道命名150年記念事業への参画を目的と



し、併せて本町のメインイベントの湖水まつりを盛り上げてまいりたいとの趣旨で、北海道の支援をいただき実施させていただくものであります。



例年、7月最終土曜日・日曜日の2日間で実施してまいりました開催日程につきましては、近年の2日間を通じた来場状況や、昨年、土曜日に初めて花火大会を実施したことに対する向上的なご意見、また、本年はインカラプテ音楽祭との併催などを考慮し、7月28日土曜日1日のみの開催とし、花火大会につきましても同

日に実施することとなりました。

なお、次年度以降の開催内容につきましては、本年の実施結果を検証し、様々なご意見をいただく中で、実行委員会において検討することにしております。

■ねむの木学園美術展開催

昨年8月に「ねむの木学園」宮城まり子理事長が来町され、以降本町での美術展開催に向けて実務者間の協議を進めてまいりました。

本年に入りまして、最終的な日程及び開催要領を決定するため、3月20日に静岡県掛川市にあります学園を訪問させていただきました。宮城理事長並びに担当教諭と打ち合わせを行った結果、開催日程は7月15日から22日までの8日間とし、会場は保健福祉センターみなくるとすることに決定いたしました。

その後、直ちに美術展の開催に向け、本町では町・大乗会・社会福祉協議会の3者で「ねむの木学園美術展南富良野町実行委員会」を5月1



日に組織し、ねむの木学園とともに美術展を開催する体制の整備を行い、準備を進めているところであります。

会場の保健福祉センターみなくるとでは、期間中事前準備を含め、学園より宮城理事長をはじめ、職員10名、生徒4名が来町され、事前準備と期間中の運営を行う予定となっております。

7月15日には、オープニングセレモニーとしてテークカットを行いますので、たくさんの方の皆さまには、期間中のご来場を賜りますようお願い申し上げます。

■絵画の寄贈

今般、長野市在住の小田切徹太郎氏より、趣味で収集した「中堀慎治画伯」の絵画19点について寄贈の申し出をいただきました。

小田切徹太郎氏は、昭和17年生まれの76歳、昭和44年信州大学医学部を卒業後、信州大学医学部教授として退官される平成19年まで務められ、退官後、千歳市に永住する決意で移住されましたが、奥様が亡くなられたことで、ふるさとの長野県に戻られることになり、この間に収集された絵画を災害のあった南富良野町に寄贈し、文化・芸術の振興に役立ててほしい旨の申し出がありましたので、ご厚意をお受けして採納することにいたしました。

展示につきましては現在検討しているところでありまして、決まりましたら町民の皆さまにも広報等で周知し、多くの方々に鑑賞いただけるよう進めてまいります。

■ツール・ド・北海道

ツール・ド・北海道実行委員会より、2018年大会に向けたコースの説明があり、本年度は第1ステージが9月7日、旭川をスタートし新得町までの185km、第2ステージが9月8日、帯広市から北見市までの174km、第3ステージが9月9日、北見市から当麻町までの177kmで競技が行われます。

このうち、本町を通過するのは9月7日の第1ステージで、三の山峠から物産センター前を通り、幾寅警察官駐在所の手前を左折、北落合を経由し狩勝峠までの間となっております。

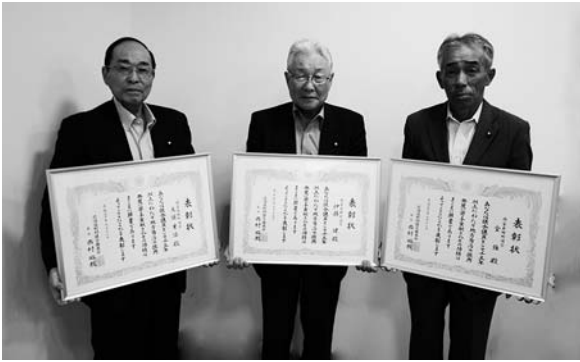
この競技にあたり、本町へは交通整理員の協力要請があり、また沿道での応援の要請もありますので、地域住民に広報等で開催周知を行うほか、各学校へも周知し、大会を盛り上げるよう協力してまいります。



北海道町村議会議長会
自治功労者表彰
～議員在職15年以上～

議会議員として、多年にわたり地方自治の発展に寄与・貢献された功績により、北海道町村議会議長会第69回定期総会(平成30年6月12日開催)において自治功労者表彰を受賞されました。

受賞された伊藤健議長、金強副議長、大道重治議員の3名に対し、6月定例議会に先立ち表彰伝達が行われました。



■全道町村議会議員研修会
(7月3日)

北海道町村議会議長会主催の北海道町村議会議員研修会が札幌コンベンションセンターで開催され、8名の議員が出席しました。研修会では、歴史家・作家の加来耕三氏による「明治維新から150年、現在そして未来を考える」と題した講演、また、日本大学法学部教授の岩井奉信氏による「現代日本政治と政局のゆくえ」と題した講演を拝聴しました。



講師 加来 耕三 氏

加来耕三氏による講演では、歴史を学ぶ上で大切なのは、なぜそうなったのか?という疑問を持ち、それを現在そして未来を考える事に繋げていくことが大切、という講演内容でした。また、岩井奉信氏の講演は、2019年の参議院選挙・統一地方選挙から、地方分権は国から都道府県へ市町村へと、ますます役割は移っていく、という内容でした。



講師 岩井 奉信 氏

■優良事例視察研修
(7月4日)

株式会社Jファーム苫小牧工場を訪れ、7名の議員が出席しました。研修目的は多様なエネルギーを無駄なく利用し作物を安定的に生産する技術を学ぶために、AI(人工知能コンピューター)を取り入れた生産技術を視察してきました。施設内では水耕栽培により通年栽培が行われ、室温・温度・太陽光・水の数量管理など、すべてAIで管理されており、自動でCO2の濃度を上げ植物の成長を促進させ、120%の収量を得ることができるとの説明がありました。主にミニトマト、リーフ栽培を行っており、施設内のレストランでは自社製のミニトマトを使用したハヤシライス等を提供していました。



平成30年第2回 臨時議会 5月2日

平成30年第2回臨時会は5月2日に召集され、提案された議案を原案のとおり承認、可決し閉会しました。

■専決処分の承認

○平成29年度南富良野町一般会計補正予算

まちづくり応援基金積立金の増額に伴い、基金への積立金を増額するものです。

○南富良野町税条例

地方税法の一部を改正する法律が施行されたことによる改正です。

■一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ648万円を追加する補正予算を原案のとおり可決しました。この補正予算により一般会計の歳入歳出予算の総額は39億2831万8千円となりました。

■財産の取得

- 取得しようとする動産
- マイクロバス(29人乗り・オートマチック車) 1台
- 取得金額 907万円
- 取得先 北海道市町村備荒資金組合

■その他

- 財物事故に関する和解及び損害賠償
- 町有自動車により発生した財物事故に関し、車両の所有者との和解及び損害賠償を行うものです。

次の定例会は9月19日から21日の予定です。
詳しくは、議会事務局(☎52-2114)へお問い合わせください。

議会の動き

平成30年5月～7月

- 5月2日 ○南富良野町議会第2回臨時会
- 議会運営委員会 ○全員協議会
- 7日 ○根室本線対策協議会総会(富良野市)
- 17日 ○総務常任委員会 ○全員協議会
- 18日 ○富良野地方自衛隊協力会定期総代会(上富良野町)
- 南富良野町商工会通常総会
- 21日 ○第5回南富良野町町制施行50周年記念事業実行委員会
- 26日 ○南富良野中学校体育祭
- 陸上自衛隊第2師団音楽まつり(旭川市)
- 30日 ○南富良野町森林組合通常総会
- 31日 ○医療対策協議会
- 6月1日 ○総合交通体系等調査特別委員会
- 全員協議会
- 3日 ○上富良野駐屯地創立63周年記念行事(上富良野町)
- 4日 ○富良野広域連合議会第1回臨時会(富良野市)
- 5日 ○国保運営協議会
- 6日 ○根室本線対策協議会による国土交通省及び道内選出議員への中央要請活動(東京都)
- ～7日
- 10日 ○北海道消防協会上川地方支部富良野地区分会消防総合訓練大会(占冠村)
- 12日 ○北海道町村議会議長会定期総会及び議長・事務局長研修会(札幌市)
- 14日 ○議会運営委員会 ○全員協議会

- 6月15日 ○(株)南富良野町振興公社定時株主総会
- 17日 ○陸上自衛隊第2師団創立68周年・旭川駐屯地開設66周年記念行事(旭川市)
- 19日 ○社会福祉協議会第1回評議員会
- 20日 ○南富良野町議会第2回定例会
- ～22日 ○議会運営委員会 ○全員協議会
- 総務常任委員会
- 総合交通体系等調査特別委員会
- 議会広報特別委員会
- 21日 ○JR根室本線の早期災害復旧と路線維持を求める十勝集会(新得町)
- 7月1日 ○陸上自衛隊第13旅団鈴木直栄旅団長との食事会
- 3日 ○北海道町村議会議員研修会(札幌市)
- 4日 ○先進地優良事例視察研修(苫小牧市)
- 7日 ○南富良野大乗会スポ・レク交流会
- 戦没者追悼式
- 南富良野高等学校学校祭
- 今津寛氏旭日重光章受章祝賀会(旭川市)
- 8日 ○南富良野消防総合演習
- 11日 ○道議会議員本間勲と語る夕べ(富良野市)
- 15日 ○ねむの木学園のこどもたちとまり子美術展オープン式
- 21日 ○自由民主党北海道第6選挙区支部2018政経セミナー(旭川市)
- 23日 ○参議院議員はちろ吉雄政経セミナー(札幌市)
- 28日 ○かなやま湖湖水まつり
- 第2回イランカラプテ音楽祭(南ふらの)